

令和2年度

学生による授業評価 アンケート実施結果報告書

—授業の質的向上と発展を目指して—

東北大学大学院農学研究科・農学部
評価室

目 次

はじめに	1
I. 学生による農学部 の授業評価	3
1. アンケートの実施方法	3
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析(講義)	3
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. アンケートの集計結果の分析(実験・実習)	15
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
4. 参考資料	23
1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙	
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙	
2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について	
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について	
4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について	
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について	

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価	34
1.アンケートの実施方法	34
1) 実施の概要 2) 実施の方針 3) アンケート作成 4) 実施方法の概要	
2. アンケートの集計結果の分析	35
1) アンケート項目	
2) 集計結果、集計表、感想と意見	
・集計結果の分析概要と集計表	
・全科目の集計結果と集計表	
・前回の授業評価との比較	
3. 参考資料	45
1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙 (2 学期)	
2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率)	
3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について	
4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について	

はじめに

農学研究科・農学部での授業評価は、学生による授業評価を平成10年度の2学期と同11年度1学期に初めて実施され、同15年度以降は毎年実施しております。毎年実施されるようになって平成31年／令和元年度で16年目となります。本報告書は令和2年度(2020年度)の回答結果を令和3年度(2021年度)にまとめたものです。報告書のとりまとめは1年遅れとなります。

授業評価の直接的な目的は日常の授業の質的向上です。そして、その評価結果は大学の普段の活動状況に関する説明責任を果たすための資料になっています。

2020年度(令和2年度)には第3期中期目標期間(平成2016年度から2021年度)に係る業務の実績に関する4年目終了時評価のための現況調査表を提出しました。その中でも「学生による授業評価報告書」を引用して判断基準としています。教育活動の状況は学部が「特筆すべき高い質にある」、大学院は「高い質にある」と評価されました。

農学部の専門教育科目において、2019年度(平成31年度／令和元年度)入学生よりクォーター制を導入し、令和2年度の授業評価アンケート対象講義にクォーター制の講義が初めて含まれました。

また、令和2年度には新型コロナウイルス感染拡大防止のためオンライン授業を始めました。東北大学では新型コロナウイルス感染拡大防止のための行動指針BCPを5段階に設定しています。2020年4月8日に東北大学行動指針がレベル3に引き上げられ、基本的に教職員は在宅勤務、学生は自宅待機となりました。4月17日にレベル4に引き上げ、キャンパス入構は原則禁止となりました。5月18日にレベル3に引き下げられ、さらに6月1日にはレベル2となり、キャンパスでの教育・研究を再開しました。6月19日からレベル1となり、対面授業を再開しましたが、2021年1月8日には再びレベル2となり原則オンライン授業となり学期末を迎えました。

そのため、アンケート項目をオンライン授業にも対応した項目に修正しました。また、修正に合わせて、学部と大学院のアンケート項目を統一しました。令和元年度からはWEBマーケティングツールを利用したスマートフォンによるアンケート実施をしております。2019年(平成31年)3月作成の報告書からは統計的分析データをPDF化して農学部・農学研究科HPで公開しています。

最後に、学生による授業評価に協力を頂いた学生諸君と教員の皆様、同評価のための事務作業担当者、並びに評価報告書を取りまとめられた専門委員会の方々に謝意を表します。

令和4年3月

評価室長 鳥山欽哉

I.学生による農学部_の授業評価

I. 学生による農学部の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学部の授業評価は、農学部における専門教育を受講している1年生、2年生、3年生および4年生を対象とした。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和2年度に行われた農学部の講義と実験・実習を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、2単位の授業では令和2年6月下旬と令和3年1月に実施し、1単位の授業では終了時に実施した。実験・実習については各授業の終了時に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 各設問に対する回答は、4段階評価で行った。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、令和2年6月下旬および令和3年1月の各セメスター終了時の授業時間に、Web上のアンケート回答ページのQRコード読み取り用紙を配布し、学生はQRコードを読み取り、Web上でアンケートに回答した。実験・実習についても、各授業終了時に同様の形で実施した。
- (2) 教務係では、学生の回答データをWeb上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和2年度1学期は83科目、2学期は73科目（内通年で、実験・実習は23科目）で実施された。講義の履修届者数は1学期3,325名、2学期2,310名、アンケート延べ回答者数は1学期748名で回収率は22.5%、2学期314名で回収率は13.6%であった。
実験・実習の履修届者数は通年で177名、アンケート延べ回答者数は91名で回収率は51.4%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:この講義は必修、選択のいずれですか。

設問②:この講義をどの程度受講しましたか。

設問③:授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか？

設問④:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問⑤:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑥:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑦:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑧:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑨:講義を進める速度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑩:オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。

設問⑪:パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。

設問⑫:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑬:講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。
(ない場合は、入力不要です。)

設問⑭:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。
(紹介されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑮:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。
(課されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑯:講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？
(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑰:講義内容はどの程度理解できましたか。

設問⑱:講義の難易度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑲:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:必修か選択かを問う設問である。必修の割合は、1学期 71%、2学期 63%であった。

設問②:出席割合を問う設問である。90%以上出席が1学期は 96%で、2学期は 95%と同程度であった。

設問③、④:講義に対する学生の取り組みを問う設問である。予習・復習に取り組んでいる割合は 93%以上と高い。講義への取り組みについては、「極めて熱心に取り組んだ」と「熱心に取り組んだ」の合計は1学期で 90%、2学期では 86%と高く、前年度(両学期 77%)から向上している。一方、あまり熱心に取り組んでいない学生が1学期で 10%、2学期で 14%と1割を超え、無視できない数値である。前年度(23%)よりも大きく減少しているとは言え留意する必要がある。

設問⑤、⑥:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスの有用性については、「大いに有用だった」と「有用だった」の合計は、1学期が84%、2学期は90%と高く、また1学期、2学期ともに95%を超える学生がシラバスに沿って講義が行われていると回答している。したがって、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。

設問⑦、⑧:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1学期、2学期とも96%を超える学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しても、1学期、2学期ともに96%の学生が熱意を感じている。

設問⑨～⑫:教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、両学期ともに97%の学生がほぼ適切だと感じている。令和2年度はオンライン講義が主であった。そのため教材の受信についての様子を問うた。1学期で88%が支障なし、11.4%(回答者85名)で支障があったと回答している。しかしながら2学期では、支障なしが94%と増加し、支障ありが4.5%へと減少した。講義室の開放等の対応が奏功していると思われる。一方で支障ゼロに向けた支援を継続する必要がある。

オンライン、オンデマンドでのパワーポイントや板書については、両学期とも約88%の学生が読み易かったと回答しているが、一方で、読みにくかったとしている学生が両学期において12%おり、改善に向け精査した対応が必要である。

設問⑬、⑭:教材の有用性に関する設問である。オンライン用に動画や資料の配布があった場合の有用性については、1学期90%、2学期88%が高いと感じている結果であった。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は54～59%と低かったが、これは未記入が多いことから、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。実際、役に立たなかったとの回答は約7%以下であったため、教科書や参考書は有効であったと考えられる。

設問⑮、⑯:宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、1学期で87%、2学期で約70%の学生が有効性を感じていた。オンライン主体であったために多くの講義で課されたと推察するが、それが奏功していたことが窺える。なお、役に立たなかったとの回答は両学期とも約6%以下と低かった。オフィスアワーの設定については、両学期とも97%以上と学生が概ね適切であると回答しており、オンライン状況下でも適切な対応が行われていたと考えられる。

設問⑰⑱:講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、両学期とも91%を超える学生が理解できたと感じている。難易度についても、両学期とも97%を超える学生が適切であると感じている。難易度の設定に問題はないと考えられる。しかしながら、引き続きわかりやすい講義の実施に努めることが必要である。

設問⑲:講義の満足度を問う設問である。両学期とも95%を超える学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 講義に対する学生の取り組みを問う設問と教員の講義の仕方に関する設問に対する評価は、前年度から改善されていた。
- ② 1学期、2学期ともに95%を超える学生が講義はシラバスに沿って講義が行われていると回答しており、シラバスは適切に作成され、利用されているようである。
- ③ 96%を超える学生が、講義内容は準備されており、また講義を進める速度に関してもほぼ適切だと感じている。
- ④ 96%を超える学生が教員の講義を行う姿勢に熱意を感じ、また総合的に満足している。
- ⑤ オンラインでの講義が主であったが、動画、教材等の資料の有効性を高いと感じた学生の割合が高く、適切な講義を提供できていたと考えられる。
- ⑥ 前年改善を要する点として挙げられていた宿題・課題については、その有効性を高いと感じた学生の割合が増加し、改善が進んでいるとようである。
- ⑦ 難易度について、97%を超える学生が適切であると感じている。

【改善を要する点】

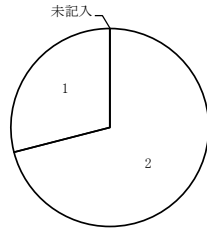
- ① オンライン受講に支障がある学生の割合は低いが無視できない程度に依然としてある。受講環境等の改善、支援が引き続き求められる。
- ② オンライン、オンデマンドでのパワーポイントや教室での板書については改善が進んでいるが、一方で、読みにくかったとしている学生が依然として10%を超えていることから、科目別の精査や教員側への働きかけなど、さらに改善に向けた対応が必要である。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

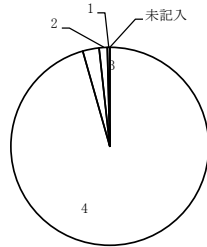
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①この講義は必修、選択のいずれですか。	2 必修	531	71.0
	1 選択	217	29.0
	未記入	0	0.0
②この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	715	95.6
	3 80~89%	20	2.7
	2 70~79%	10	1.3
	1 70%未満	3	0.4
	未記入	0	0.0
③授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	185	24.7
	3 1時間程度	318	42.5
	2 30分程度	215	28.7
	1 全くしなかった	30	4.0
	未記入	0	0.0
④この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	169	22.6
	3 熱心に取り組んだ	506	67.6
	2 あまり熱心に取り組まなかった	70	9.4
	1 全く熱心に取り組まなかった	3	0.4
	未記入	0	0.0

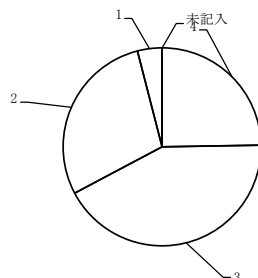
①必修・選択



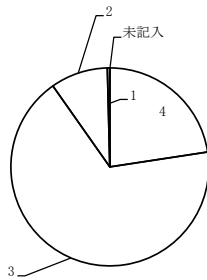
②出席



③予習・復習



④取組み

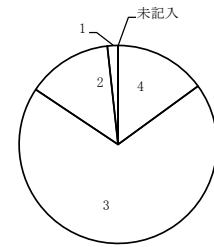


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

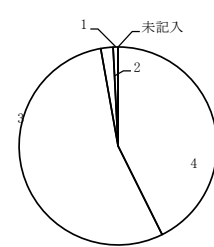
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤授業概要(シラバス)は有用でしたか。	4 大いに有用だった	112	15.0
	3 有用だった	519	69.4
	2 あまり有用でなかった	104	13.9
	1 有用でなかった	13	1.7
	未記入	0	0.0
⑥授業概要(シラバス)によって授業が行われていましたか。	4 行われていた	319	42.6
	3 だいたい行われていた	408	54.5
	2 あまり行われていなかった	15	2.0
	1 全く行われていなかった	6	0.8
	未記入	0	0.0
⑦内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	361	48.3
	3 されていた	359	48.0
	2 あまりされていなかった	25	3.3
	1 極めて不十分だった	3	0.4
	未記入	0	0.0
⑧講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	295	39.4
	3 感じた	423	56.6
	2 あまり感じなかった	29	3.9
	1 全く感じなかった	1	0.1
	未記入	0	0.0

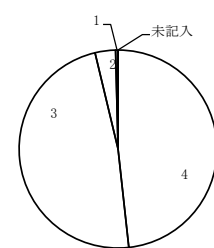
⑤シラバスの有用性



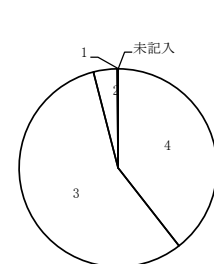
⑥シラバスとの整合性



⑦整理・準備



⑧熱意

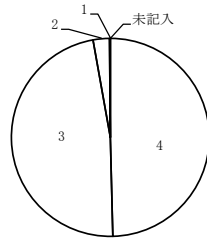


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

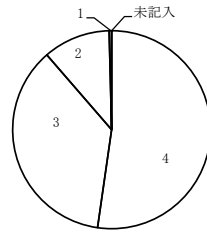
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨ 講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	371	49.6
	3 概ね適切だった	356	47.6
	2 あまり適切でなかった	20	2.7
	1 全く適切でなかった	1	0.1
	未記入	0	0.0
⑩ オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	391	52.3
	3 ほとんど支障なし	272	36.4
	2 時々支障あり	82	11.0
	1 ほとんど受講出来なかった	3	0.4
	未記入	0	0.0
⑪ パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	313	41.8
	3 読み易かった	371	49.6
	2 読みにくかった	55	7.4
	1 非常に読みにくかった	9	1.2
	未記入	0	0.0
⑫ 説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	286	38.2
	3 聞き取れた	400	53.5
	2 聞き取りにくかった	58	7.8
	1 聞き取れなかった	4	0.5
	未記入	0	0.0

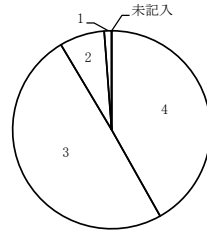
⑨講義速度



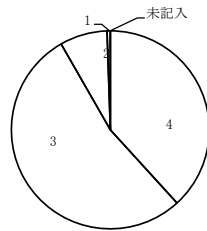
⑩受信



⑪板書



⑫説明

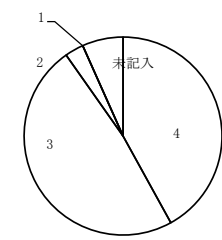


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

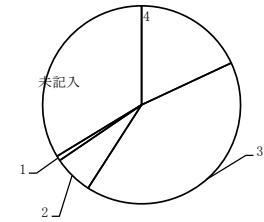
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬ 講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(ない場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	314	42.0
	3 役立った	361	48.3
	2 あまり役立たなかった	23	3.1
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	50	6.7
⑭ 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。(紹介されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	135	18.0
	3 役立った	307	41.0
	2 あまり役立たなかった	48	6.4
	1 全く役立たなかった	6	0.8
	未記入	252	33.7
⑮ 宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(課されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	234	31.3
	3 役立った	419	56.0
	2 あまり役立たなかった	26	3.5
	1 全く役立たなかった	4	0.5
	未記入	65	8.7
⑯ 講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	384	51.3
	3 ほぼ適切である	346	46.3
	2 あまり適切でない	16	2.1
	1 適切でない	2	0.3
	未記入	0	0.0

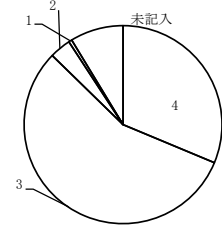
⑬資料・教材



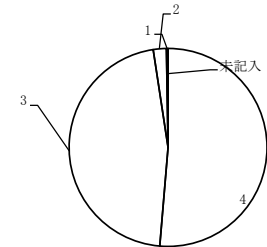
⑭教科書・参考書



⑮宿題・演習



⑯質問・相談

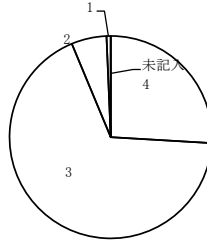


東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

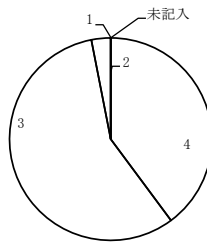
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰講義内容ほどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	194	25.9
	3 理解できた	507	67.8
	2 あまり理解できなかった	42	5.6
	1 全く理解できなかった	5	0.7
	未記入	0	0.0
⑱講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	298	39.8
	3 概ね適切だった	427	57.1
	2 あまり適切でなかった	23	3.1
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
⑲総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	307	41.0
	3 ある程度満足した	408	54.5
	2 あまり満足しなかった	29	3.9
	1 全く満足しなかった	4	0.5
	未記入	0	0.0

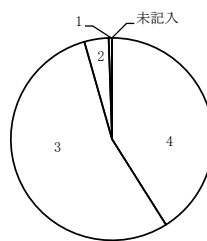
⑰理解



⑱難易度



⑲総合判断

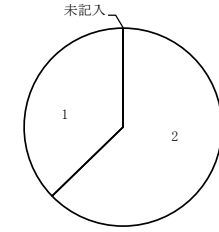


東北大学農学部に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

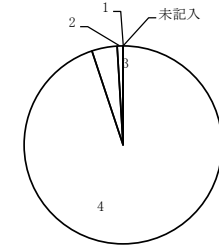
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
①この講義は必修、選択のいずれですか。	2 必修	197	62.7
	1 選択	117	37.3
	未記入	0	0.0
②この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	298	94.9
	3 80~89%	13	4.1
	2 70~79%	3	1.0
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
③授業時間以外に、この授業に関連する学習(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を適当たりどの程度しましたか?	4 2時間程度以上	64	20.4
	3 1時間程度	127	40.4
	2 30分程度	100	31.8
	1 全くしなかった	23	7.3
	未記入	0	0.0
④この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	57	18.2
	3 熱心に取り組んだ	214	68.2
	2 あまり熱心に取り組まなかった	43	13.7
	1 全く熱心に取り組まなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

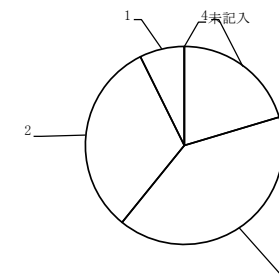
①必修・選択



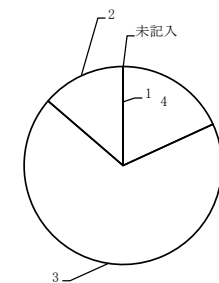
②出席



③予習・復習



④取組み

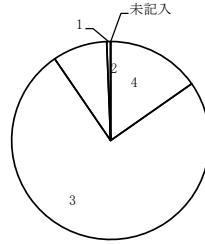


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

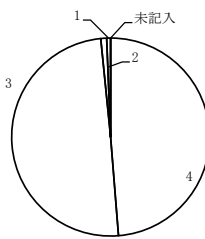
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑤授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	48	15.3
	3 有用だった	236	75.2
	2 あまり有用でなかった	28	8.9
	1 有用でなかった	2	0.6
	未記入	0	0.0
	⑥授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	153
	3 だいたい行われていた	156	49.7
	2 あまり行われていなかった	3	1.0
	1 全く行われていなかった	2	0.6
	未記入	0	0.0
⑦内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。	4 よくされていた	171	54.5
	3 されていた	134	42.7
	2 あまりされていなかった	8	2.5
	1 極めて不十分だった	1	0.3
	未記入	0	0.0
⑧講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	156	49.7
	3 感じた	147	46.8
	2 あまり感じなかった	10	3.2
	1 全く感じなかった	1	0.3
	未記入	0	0.0

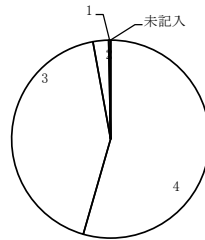
⑤シラバスの有用性



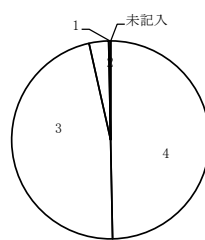
⑥シラバスとの整合性



⑦整理・準備



⑧熱意

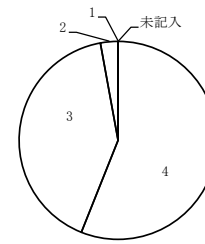


東北大学農学部講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

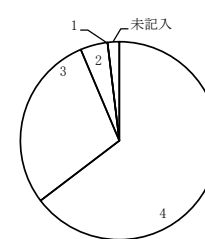
時間割コード：AB0000
 授業科目名：全科目合計
 担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑨講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	176	56.1
	3 概ね適切だった	129	41.1
	2 あまり適切でなかった	9	2.9
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
	⑩オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	203
3 ほとんど支障なし		91	29.0
2 時々支障あり		14	4.5
1 ほとんど受講出来なかった		0	0.0
未記入		6	1.9
⑪パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。		4 大変読み易かった	137
	3 読み易かった	138	43.9
	2 読みにくかった	35	11.1
	1 非常に読みにくかった	4	1.3
	未記入	0	0.0
	⑫説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	157
3 聞き取れた		144	45.9
2 聞き取りにくかった		12	3.8
1 聞き取れなかった		1	0.3
未記入		0	0.0

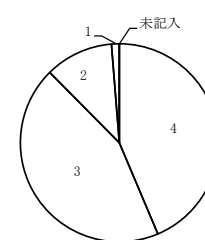
⑨講義速度



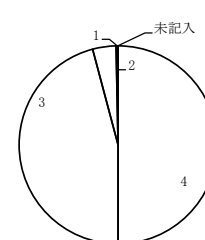
⑩受信



⑪板書



⑫説明

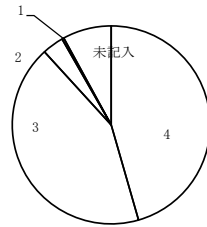


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

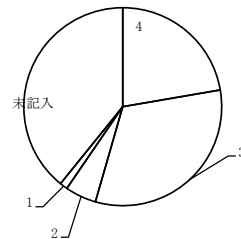
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑬講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(ない場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	143	45.5
	3 役立った	134	42.7
	2 あまり役立たなかった	11	3.5
	1 全く役立たなかった	1	0.3
	未記入	25	8.0
	⑭教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。(紹介されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	70
3 役立った	101	32.2	
2 あまり役立たなかった	16	5.1	
1 全く役立たなかった	4	1.3	
未記入	123	39.2	
⑮宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。(課されなかった場合は、入力不要です。)	4 大いに役立った	85	27.1
	3 役立った	133	42.4
	2 あまり役立たなかった	8	2.5
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	88	28.0
⑯講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	159	50.6
	3 ほぼ適切である	152	48.4
	2 あまり適切でない	3	1.0
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0

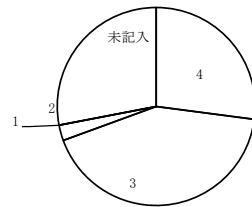
⑬資料・教材



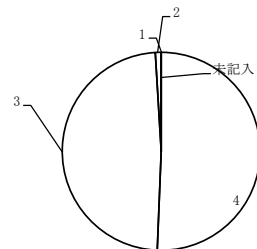
⑭教科書・参考書



⑮宿題・演習



⑯質問・相談

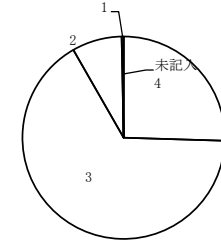


東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

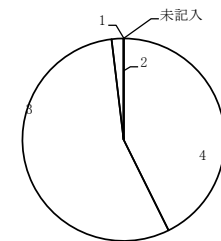
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
⑰講義内容ほどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	80	25.5
	3 理解できた	208	66.2
	2 あまり理解できなかった	25	8.0
	1 全く理解できなかった	1	0.3
	未記入	0	0.0
	⑱講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	134
3 概ね適切だった		174	55.4
2 あまり適切でなかった		6	1.9
1 全く適切でなかった		0	0.0
未記入		0	0.0
⑲総合的に判断して、この講義に満足しましたか。		4 大変満足した	149
	3 ある程度満足した	150	47.8
	2 あまり満足しなかった	14	4.5
	1 全く満足しなかった	1	0.3
	未記入	0	0.0

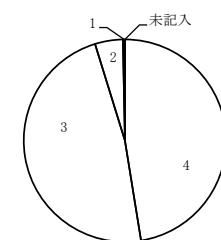
⑰理解



⑱難易度



⑲総合判断



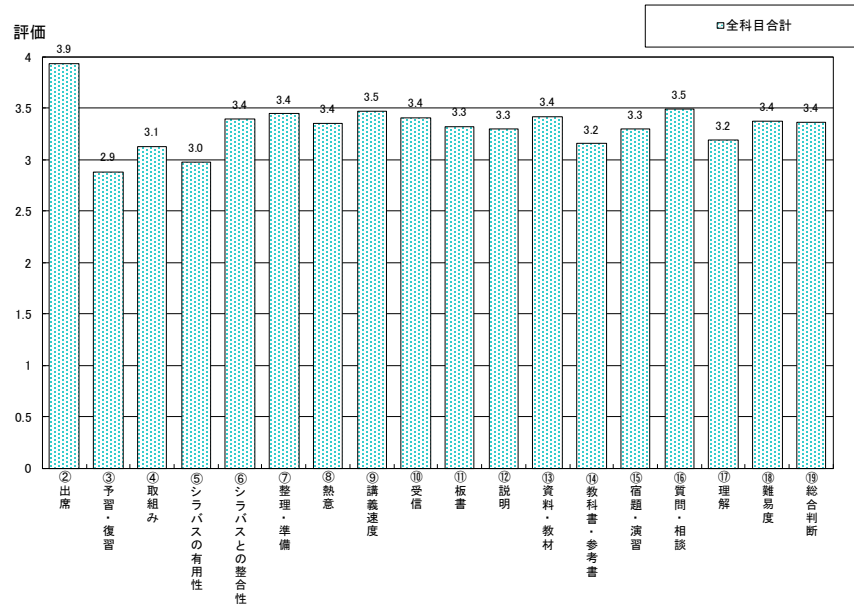
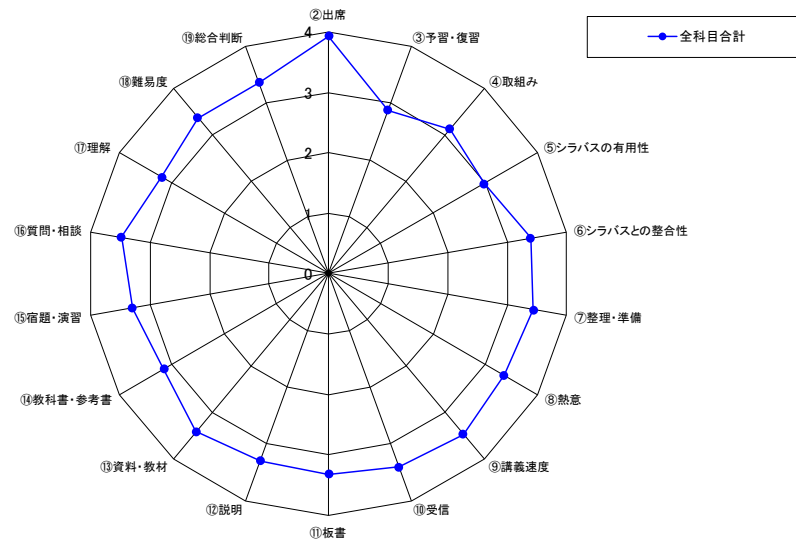
○全科目の集計結果と集計表

各設問に対する 4 段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。ただし、設問①は除いた。出席割合を示す設問②はすべての設問の中で最も点数が高く 1、2 学期とも 3.9 であった。1、2 学期とも比較的高い点数と思われる 3.4 以上となった項目は、⑥シラバスとの整合性、⑦整理・準備、⑨⑧熱意、⑨講義速度、⑬資料・教材、⑯質問・相談、⑱理解であり、昨年度と比べると2項目増えた。

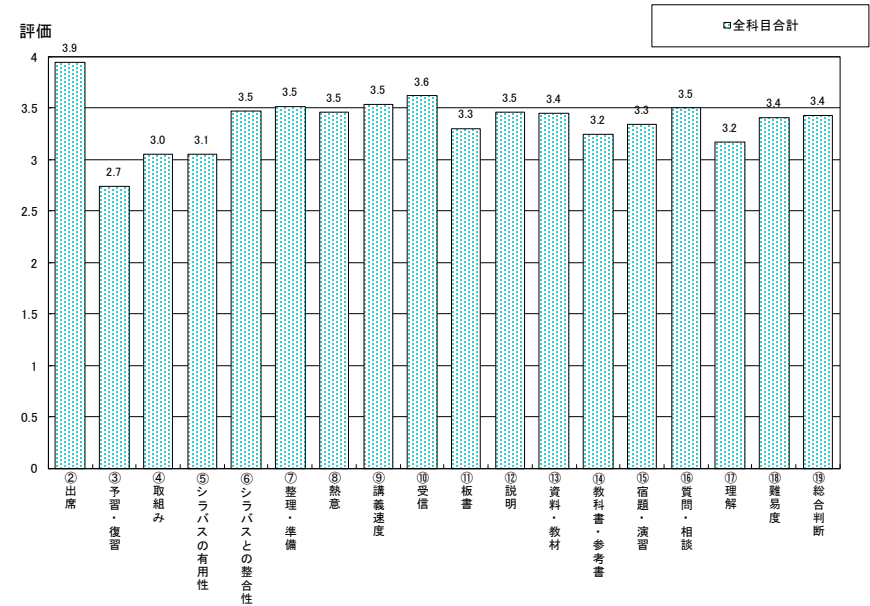
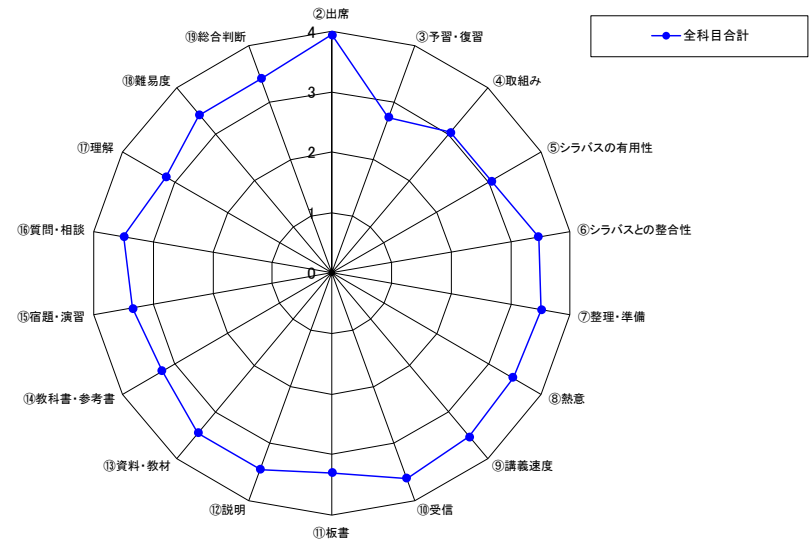
低い評価点数については、前年のような 2.5 以下の項目はなかった。項目③は予習・復習時間の設問で時間に応じた評価点数となっているが、学生にとって十分な予習・復習が行われているかは各科目ごとに精査し、必要のに応じた改善を図る必要がある。

なお、以上の評価は、22.4% (1学期)、13.5% (2 学期) のアンケート回収率に基づいている(4.参考資料_2)授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和 2 年度))。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、周知対応が徹底できなかったため回収率が下がったものとする。回収率の向上に向けた対応も今後は必要である。

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和2年1学期)
全科目合計



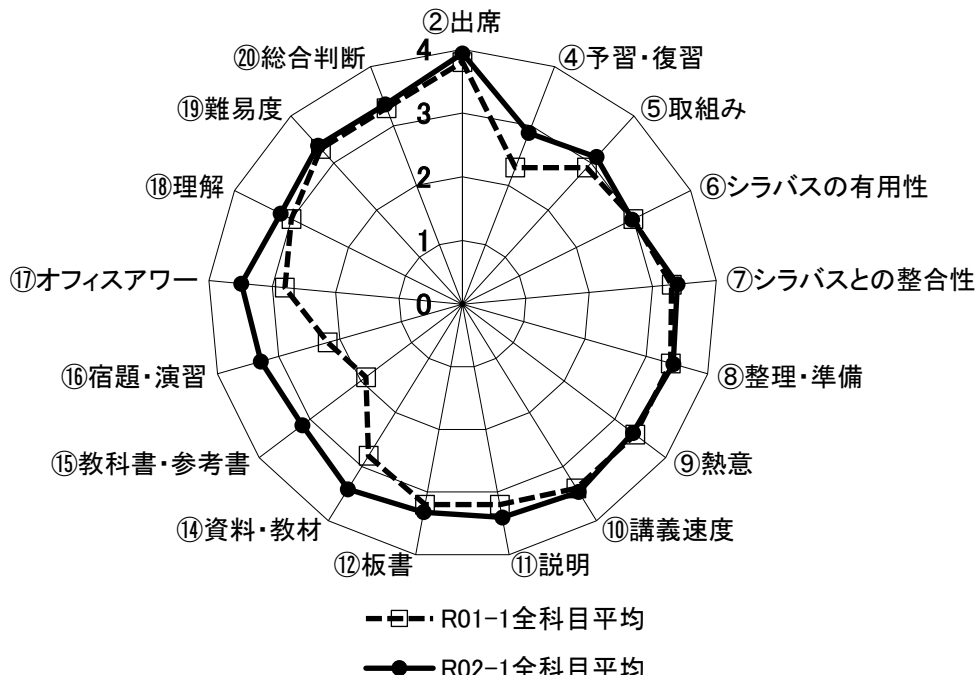
東北大学農学部講義に関するアンケート集計結果(令和2年2学期)
全科目合計



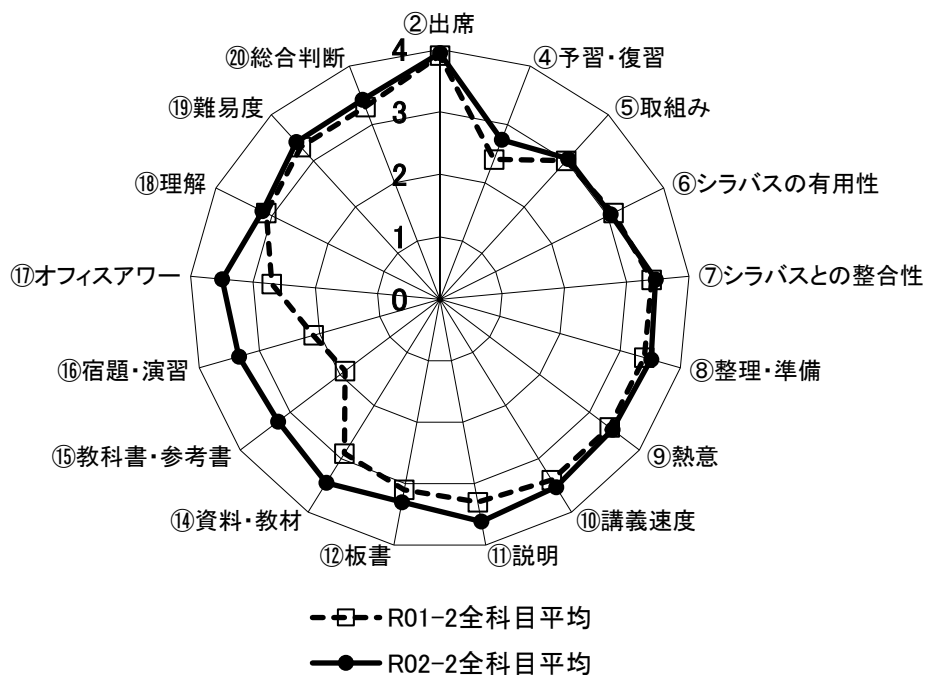
○前回の授業評価との比較 ※項目に変更があったが、類似する項目はそのまま比較している。

アンケートは内容、設問数ともに前回(令和元年度実施)とは一部異なるが(前回の③を削除し、今回⑩を新たに設定。①、⑪、⑬、⑯は改訂。)。概ね1学期、2学期とも前回から多くの項目で高い評価や改善が進んでいることが分かる。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. アンケートの集計結果の分析（実験・実習）

集計結果は、実験・実習全科目の以下の各質問事項において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。なお、今回は新型コロナウイルス感染症の影響もあり、1、2学期が併合された形で行われたため、例年の学期ごとの評価は行っていない。

1) アンケート項目

設問①: 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。

設問②: 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。

設問③: テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。

設問④: 実験機器・設備は十分でしたか。

設問⑤: 実験に必要な機器の維持管理は適切になされていましたか。

設問⑥: 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理面への配慮は十分なされていましたか。

設問⑦: 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。

設問⑧: 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑨: TA 等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。

設問⑩: 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。

設問⑪: レポート課題は適切に選択されていましたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。

設問⑫: データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。

設問⑬: 実験の時間配分は適切でしたか。

設問⑭: この実験科目にあなたは満足できましたか。

設問⑯: この実験に何回欠席しましたか。

設問⑰: この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらですか。

設問⑱: 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①、②: 実験・実習の意義・内容の理解および各実験項目に対する配慮を問う設問である。約98%以上の学生が、各実験・実習の意義や目的がシラバスや実際の実験を通して理解でき、各実験項目と講義との関係や実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じているようである。

設問③～⑤: テキストや実験機器・設備とその維持状況を問う設問である。テキストに関しては、97%以上の学生がおおよそ適切あるいは十分と考えていた。実験機器・整備に関しても十分だったとする割合は98%以上と高かった。機器管理に関してはほとんどの学生が適切に管理されていると考えている。

設問⑥、⑦: 実験の安全管理面や後処理指示の適切さを問う設問である。劇毒物等の管理が配慮されていたとする学生は92%であった。未記入が6.6%と少なからずいる。劇毒物等の扱いがなかったか、認

識が不十分であったかのいずれかと考えられる。後処理については 99%とほぼ全学生が適切であったと感じている。

設問⑧～⑩:担当スタッフや TA の指導状況を問う設問である。95%を超える学生が教員・技術職員が実験の指導に十分な時間を費やし、指導もきめ細やかだったと感じている。TA の指導が十分だったとする学生は 91%であった。不十分であったとの回答も 8.8%あり、TA が配置されなかったか、TA を含め教員の指導が十分理解されていなかった可能性がある。また、実験操作技術への教育は約 96%の学生が概ね十分であると評価している。

設問⑪、⑫:レポート課題に関する設問である。約 98%の学生が、レポート課題が適切であり、内容の理解や考える力を養うに十分なものであったと回答している。また約 97%の学生がデータ整理から書き方にいたるまでの指導も十分と感じている。

設問⑬、⑭:実験科目の時間配分や実験に対する満足度を問う設問である。93%の学生が時間配分は適切であると感じている。また、92%の学生が実験科目に満足を感じていた。

設問⑯～⑲:出席、予習・復習、集中度を問う設問である。98%以上の学生が欠席なしまたは1回欠席と回答しており、出席率は講義に比べて非常に高い。予習・復習をしなかった学生が約 11%いたが、前年より改善されている。99%の学生が実験・実習に集中できたと感じている。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響で、例年とは異なる体制で行われたが、多くの項目で高い評価であった。
- ② 98%以上の学生が、意義や目的を理解しており、実験技術の習得や理解等に配慮されていたと感じていた。
- ③ テキスト、実験機器の管理や安全管理が適切であったとする学生が 92%以上であった。
- ④ 教員・技術職員による指導が十分であったと 95%以上の学生が感じていた。

【改善を要する点】

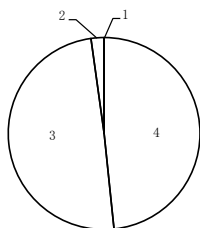
- ① 項目⑭にて、実験科目への満足度が高い値を示したが、前年の1学期や2学期に比べ 3～6%低い。これは新型コロナウイルス感染症対策のために、内容の変更があったことによる影響であると考えられる。新型コロナウイルス感染症対策による内容の変更等は今後も続くと考えられ、次年度では状況に応じて最良の内容に改善する必要である。
- ② 実験指導の点で、TA による指導が十分であったと高く評価されているものの、不十分であるとの回答も 8.8%とあり、TA 配置の問題、TA と教員の連携、指導の在り方については、継続して改善を図る必要がある。
- ③ 予習・復習をまったくしない学生の割合が改善される傾向にあるが、十分な理解へと結びつけるため、継続して学生への働きかけや進め方等の改善を検討する必要がある。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和2年）

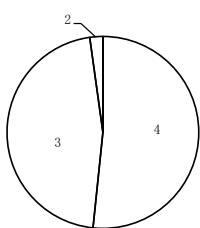
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. 実験の全体構成と各項目の意義・目的がシラバスや実際の実験を通してよく理解できましたか。	4 よく理解できた	44	48.4
	3 ある程度理解できた	45	49.5
	2 あまり理解できなかった	2	2.2
	1 全く理解できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 各実験項目は、講義との関係や実験技術習得・原理の理解などに十分配慮して選択されていましたか。	4 十分配慮されていた	47	51.6
	3 ある程度配慮されていた	42	46.2
	2 あまり配慮されていなかった	2	2.2
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
3. テキストは学習効果を上げるために適切なものとなっていましたか。	4 適切であった	48	52.7
	3 概ね適切であった	41	45.1
	2 あまり適切でなかった	2	2.2
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 実験機器・設備は十分でしたか。	4 十分だった	51	56.0
	3 概ね十分だった	29	31.9
	2 多少不十分だった	4	4.4
	1 不十分だった	7	7.7
	未記入	0	0.0

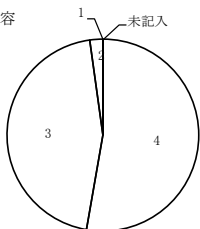
1. 理解度



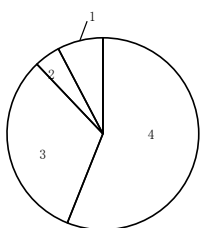
2. 実験項目



3. テキスト内容



4. 実験設備

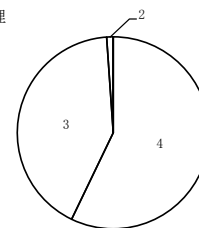


東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和2年）

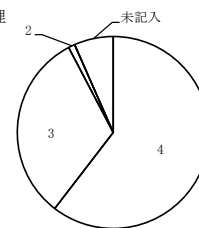
時間割コード : AB0000
 授業科目名 : 全科目合計
 担当教員名 :

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 実験に必要な機器の維持管理は適切にされていましたか。	4 適切に管理されていた	52	57.1
	3 概ね適切に管理されていた	38	41.8
	2 あまり管理されていなかった	1	1.1
	1 全く管理されていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 劇毒物・病原微生物・電気・機械類・重量物などを取り扱う際、安全管理は十分なされていましたか。	4 十分配慮されていた	55	60.4
	3 ある程度配慮されていた	29	31.9
	2 あまり配慮されていなかった	1	1.1
	1 全く配慮されていなかった	0	0.0
	未記入	6	6.6
7. 実験廃液や廃棄物、実験後の生物試料等の処理について、適切な指示がありましたか。	4 適切であった	60	65.9
	3 概ね適切であった	30	33.0
	2 あまり適切でなかった	1	1.1
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 教員・技術職員は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	53	58.2
	3 概ね十分だった	32	35.2
	2 多少不十分だった	4	4.4
	1 不十分だった	2	2.2
	未記入	0	0.0

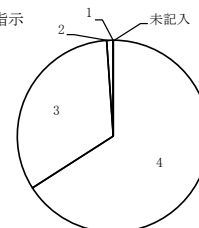
5. 機器管理



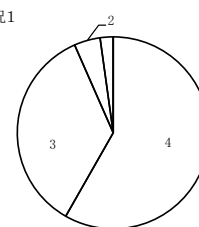
6. 安全管理



7. 後処理指示



8. 指導状況1



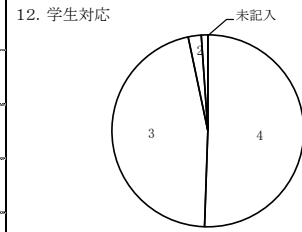
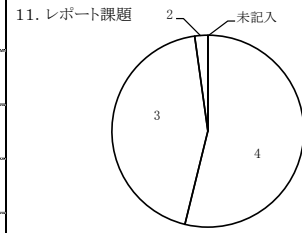
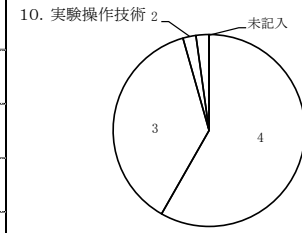
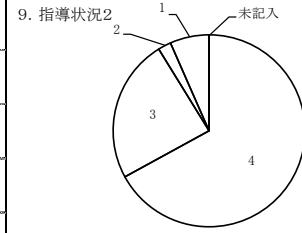
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和2年）

時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. TA等は実験の指導に十分な時間を費やし、きめ細かな指導をしましたか。	4 十分だった	61	67.0
	3 概ね十分だった	22	24.2
	2 多少不十分だった	2	2.2
	1 不十分だった	6	6.6
	未記入	0	0.0
10. 機器の取扱い、機器の使用法、実験操作法など実験操作技術への教育は十分でしたか。	4 十分だった	53	58.2
	3 概ね十分だった	34	37.4
	2 多少不十分だった	2	2.2
	1 不十分だった	2	2.2
	未記入	0	0.0
11. レポート課題は適切に選択されていたか。内容の深い理解の助けになり、考える力を養う上で役に立つものとなっていましたか。	4 大いに役立った	49	53.8
	3 ある程度役立った	40	44.0
	2 あまり役立たなかった	2	2.2
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
12. データの整理、レポートの書き方などについて十分な指導がありましたか。	4 十分あった	46	50.5
	3 概ね十分あった	42	46.2
	2 多少不十分だった	2	2.2
	1 不十分だった	1	1.1
	未記入	0	0.0



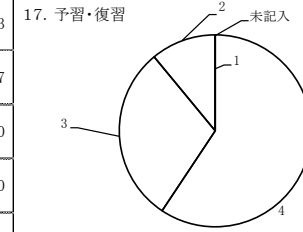
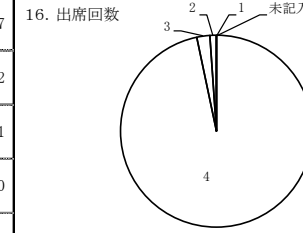
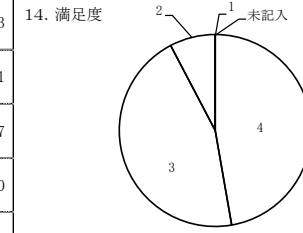
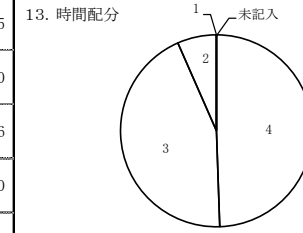
東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和2年）

時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 実験の時間配分は適切でしたか。	4 適切であった	45	49.5
	3 概ね適切であった	40	44.0
	2 あまり適切でなかった	6	6.6
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
14. この実験科目にあなたは満足できましたか。	4 大いに満足した	43	47.3
	3 ある程度満足した	41	45.1
	2 あまり満足しなかった	7	7.7
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. この実験に何回欠席しましたか。	4 欠席しなかった	88	96.7
	3 1回欠席	2	2.2
	2 2回欠席	1	1.1
	1 3回以上欠席	0	0.0
	未記入	0	0.0
17. この実験1回あたり、予習・復習・レポートに費やした平均の時間はいくらかですか。	4 3時間以上	54	59.3
	3 2時間以上～3時間未満	27	29.7
	2 2時間未満	10	11.0
	1 しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0



東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果（令和2年）

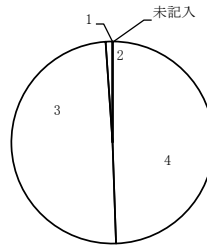
時間割コード：AB0000

授業科目名：全科目合計

担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
18. 実験に集中できましたか。実験の意味を考えながら行うよう努力しましたか。	4 大いに集中できた	45	49.5
	3 ある程度集中できた	45	49.5
	2 あまり集中できなかった	1	1.1
	1 全く集中できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

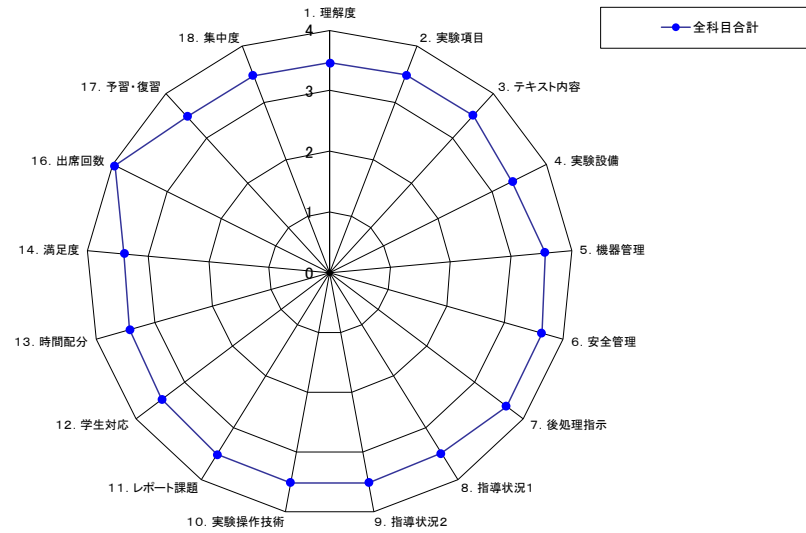
18: 集中度



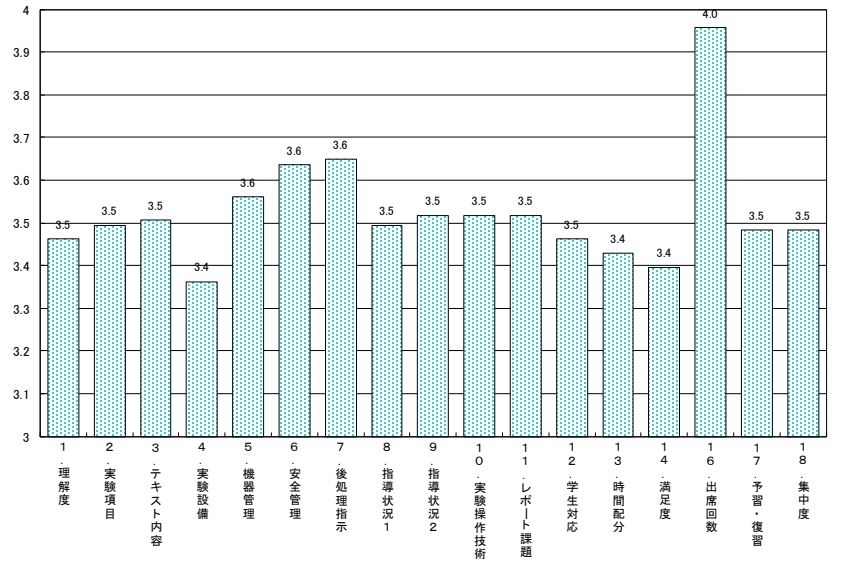
○実験・実習全科目の集計結果と集計表

各設問に対する4段階評価の実験・実習全科目の平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席回数を示す設問⑩はすべての設問の中で最も点数が高く3.9であった。新型コロナウイルス感染症対策を必要とする状況ではあったが、いずれの項目も3.4を超える高い評価であった。次年度以降の内容設計に参考になるものと思われる。

東北大学農学部実験・実習に関するアンケート集計結果(令和2年度)
全科目合計



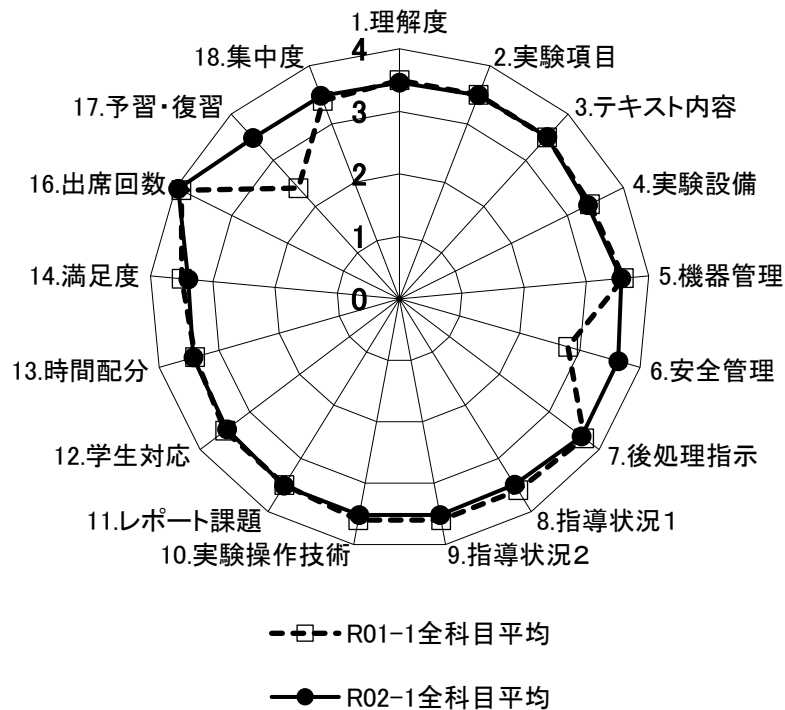
評価



○前回の授業評価との比較

アンケートは内容、設問数ともに前回(令和元年度実施)と概ね同じである。前回の通年での回答と比べて大きな変化はない。項目6「安全管理」と項目17「予習・復習」が改善された。

前回の実験・実習全科目との比較



4. 参考資料

- 1) 東北大学農学部の講義に関するアンケート用紙(QRコード)(令和2年度)
東北大学農学部の実験・実習に関するアンケート用紙(QRコード)(令和2年度)
- 2) 授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和2年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学部の学生による授業評価の実施について
「学生諸君へ」農学部の学生による実験・実習評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」学生による授業評価の実施について
「実験・実習担当教員」学生による実験・実習評価の実施について

授業評価アンケート（R2前期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/ED0APOZV>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/MV3PBKOG>



授業評価アンケート（R2後期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/Q7APG1JU>



学部実験用

<https://questant.jp/q/O16KPLML>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/ZLBQLVNZ>



東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和2年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	746	3,325	22.4%
AB1331	アグリビジネス論	1	45	2.2%
AB1313	遺伝資源学	18	26	69.2%
AB1134	栄養生理学	22	64	84.4%
AB1133	沿岸生物学	0	25	0.0%
AB1551	応用土壌学	12	22	54.5%
AB1211	開発経済学	9	10	90.0%
AB1325	海洋生物学	0	25	0.0%
AB1215	科学英語講義Ⅰ(植物生命科学コース)	0	26	0.0%
AB1421	科学英語講義Ⅰ(資源環境経済学コース)	3	10	30.0%
AB1451	科学英語講義Ⅰ(応用動物科学コース)	0	27	0.0%
AB1422	科学英語講義Ⅰ(海洋生物学コース)	0	26	0.0%
AB1631	科学英語講義Ⅰ(生物化学コース)	0	31	0.0%
AB1205	科学英語講義Ⅰ(生命化学コース)	0	33	0.0%
AB1511	果樹園芸学	9	26	34.6%
AB1324	家畜人工授精論	15	27	55.6%
AB1322	環境経済学	0	11	0.0%
AB1513	環境システム生物学	1	27	3.7%
AB2325	機能分子解析学	1	33	3.0%
AB2403	魚類学	0	26	0.0%
AB1541	現代における農と農学	5	158	3.2%
AB1311	広域資源調査学	0	20	0.0%
AB1332	酵素化学	3	92	3.3%
AB1111	昆虫生理生態学	7	19	36.8%
AB1321	栽培植物環境科学	10	26	38.5%
AB57141	資源環境経済学演習Ⅰ	0	11	0.0%
AB1644	資源環境経済学特別講義Ⅰ	0	11	0.0%
AB2552	資源生物生理学(海洋生物学コース)	0	28	0.0%
AB2121	資源動物生態学(応用動物科学コース)	4	8	50.0%
AB2122	資源動物生態学(海洋生物学コース)	0	30	0.0%
AB1101	資源有機化学	93	159	58.5%
AB1115	食品衛生化学	21	73	28.8%
AB1326	食品タンパク質化学	1	33	3.0%
AB1411	植物育種学各論	18	25	72.0%
AB1542	植物遺伝学	10	30	33.3%
AB1204	植物栄養生理学	0	51	0.0%
AB1405	植物感染応答学	0	26	0.0%
AB1561	植物生命科学入門	18	27	66.7%
AB1121	植物発生生理学	8	29	27.6%
AB1131	食用作物学	0	37	0.0%
AB2645	飼料科学	0	12	0.0%
AB1612	水圏環境コミュニケーション論	0	156	0.0%
AB1413	水圏植物学	0	25	0.0%
AB1213	水圏植物生態学	0	27	0.0%
AB1122	水産遺伝育種学	7	32	21.9%
AB1514	水産利用学	6	28	21.4%
AB1114	生物海洋学	10	29	34.5%
AB1301	生物化学	43	133	32.3%
AB1515	生物制御化学	19	51	37.3%
AB1441	生物生産情報処理概論	10	42	23.8%
AB1533	生物統計学	13	38	34.2%
AB1314	生命工学	20	54	37.0%
AB1414	生命有機化学	1	34	2.9%
AB1521	生理・生態学概論	0	156	0.0%
AB1132	草地科学	1	28	3.6%
AB1112	地域環境システム論	0	11	0.0%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB1113	動物栄養生化学	0	27	0.0%
AB1642	動物寄生体学	3	22	13.6%
AB1312	動物機能形態学	5	17	29.4%
AB1202	動物生殖科学	1	27	3.7%
AB1401	動物生理科学	1	27	3.7%
AB1212	動物微生物科学	5	27	18.5%
AB1643	動物病理学	0	14	0.0%
AB1442	入門演習	9	9	100.0%
AB1501	農学と社会・環境・倫理	132	159	83.0%
AB2656	農業科教育法Ⅰ	0	1	0.0%
AB2657	農業科教育法Ⅱ	0	1	0.0%
AB2204	農業経営学	0	11	0.0%
AB1443	微生物学	1	92	1.1%
AB1214	微生物生化学	1	61	1.6%
AB1614	フィールド環境学	24	57	42.1%
AB2341	フードシステム論	9	17	52.9%
AB1523	物理化学	53	91	58.2%
AB1502	分析化学	22	108	20.4%
AB1403	分析有機化学	14	62	22.6%
AB1543	ミクロ経済学	1	10	10.0%
AB1412	ミルク科学	46	60	76.7%
AB1611	陸圏環境コミュニケーション論	0	156	0.0%

東北大学農学部の講義に関するアンケート集計結果(令和2年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB0000	全科目合計	313	2910	13.5%
AB2115	育種管理学	2	7	28.6%
AB1141	遺伝育種学	4	6	66.7%
AB2351	遺伝子工学	1	115	0.9%
AB2523	栄養化学	23	100	23.0%
AB2503	沿岸生態遺伝学	0	30	0.0%
AB1534	応用酵素学	1	86	1.2%
AB2313	科学英語講義Ⅱ(植物生命科学コース)	0	26	0.0%
AB2421	科学英語講義Ⅱ(資源環境経済学コース)	8	10	80.0%
AB2461	科学英語講義Ⅱ(応用動物科学コース)	0	27	0.0%
AB2422	科学英語講義Ⅱ(海洋生物科学コース)	4	26	15.4%
AB2637	科学英語講義Ⅱ(生物化学コース)	13	31	41.9%
AB2114	科学英語講義Ⅱ(生命化学コース)	0	33	0.0%
AB2132	学術情報リテラシー	1	27	3.7%
AB2311	環境・動物福祉学	0	12	0.0%
AB2314	環境評価学	4	10	40.0%
AB2511	観賞園芸学	14	19	73.7%
AB2101	基礎土壌学	11	38	28.9%
AB1503	経営学	3	9	33.3%
AB2502	経済統計学	1	9	11.1%
AB2521	昆中学	1	28	3.6%
AB57142	資源環境経済学演習Ⅱ	0	11	0.0%
AB2401	資源作物学	0	15	0.0%
AB2552	資源生物生理学(応用動物科学コース)	1	28	3.6%
AB2504	食品化学	2	106	1.9%
AB2143	食品加工学	1	81	1.2%
AB2212	食品機能工学	0	33	0.0%
AB2113	食品組織学	0	12	0.0%
AB2501	植物育種学	13	62	21.0%
AB2141	植物系微生物サイエンス	24	36	66.7%
AB2151	植物生産科学	0	35	0.0%
AB2551	植物生理学	13	26	50.0%
AB2321	植物病理学	0	28	0.0%
AB2343	植物分子生理学	5	54	9.3%
AB2131	植物保護学	0	12	0.0%
AB2645	飼料科学	0	12	0.0%
AB2331	森林生態論	0	31	0.0%
AB2312	水圏無脊椎動物学	0	54	0.0%
AB2324	水産化学	0	58	0.0%
AB2642	水産経済学	0	14	0.0%
AB1203	水産資源生態学	0	28	0.0%
AB2534	水産食品管理学	0	9	0.0%
AB2203	水産増殖学	8	29	27.6%
AB1221	水質浄化学	0	28	0.0%
AB1522	政治経済学	0	9	0.0%
AB2644	生物工学特別講義	0	33	0.0%
AB2102	生物有機化学	22	68	32.4%
AB2333	生命情報科学	1	34	2.9%
AB2205	生理活性化学	1	41	2.4%
AB2564	専門科学英語基礎	4	14	28.6%
AB2152	漢語機能学	0	35	0.0%
AB2402	畜産経営学	1	10	10.0%
AB2554	テラヘルツ生物学	0	24	0.0%
AB2202	動物遺伝育種学	0	27	0.0%
AB1151	動物資源開発学	0	22	0.0%
AB2413	動物食品機能学	4	28	14.3%

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AB2303	動物生命科学	0	28	0.0%
AB2342	動物組織細胞学	28	41	68.3%
AB2512	動物発生工学	0	7	0.0%
AB1415	農業経済政策学	0	11	0.0%
AB2201	農業財政金融論	0	13	0.0%
AB1201	農村地域組織論	0	10	0.0%
AB2221	バイオインフォマテックス概論	17	65	26.2%
AB2404	反応生物化学	1	43	2.3%
AB2211	比較農業論	0	10	0.0%
AB2153	微生物サイエンス	1	23	4.3%
AB2352	フィールド生態学入門	0	34	0.0%
AB2304	プランクトン学	12	27	44.4%
AB2541	分子生物学	46	117	39.3%
AB2522	マクロ経済学	1	8	12.5%
AB2323	免疫科学	8	50	16.0%
AB2301	野菜園芸学	8	27	29.6%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部による授業評価の実施について

令和2年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学部の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の授業改善の参考となります。

令和2年6月

農 学 部 長

R2に限り後期に依頼

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学部による実験・実習評価の実施について

令和元年度に開講される実験・実習について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この実験・実習評価は、農学部の実験・実習と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の実験・実習に対する考えを把握することにより、今後の実験・実習の改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象実験・実習科目について
令和元年度に開講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施方法
今年度からウェブによるアンケート方法に変更します。実験・実習中に担当教員から配布されるQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。そのため、講義の最終日にはスマートフォン等を持ってきてください。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学部の実験・実習の改善の参考となります。

令和元年6月

農 学 部 長

令和2年6月10日

農学部授業担当教員 各位

農学部評価室長

学生による授業評価の実施について（依頼）

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学部専門教育科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終回にお願いします。
 - (2) 実施方法について
授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートのURLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ周知いただき、回答するよう指示をお願いします。
URL: <https://questant.jp/q/ED0APOZV>
 - (3) 学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう周知しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。
 - (3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

R2に限り後期に依頼

令和元年 6月24日

農学部実験・実習担当教員 各位

農学部評価室長

学生による実験・実習評価の実施について（依頼）

このことについて、今年度開講される実験・実習科目について実施します。
つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いいたします。

記

1. 対象実験・実習科目について
今年度(前期および後期)に開講される実験・実習科目について実施します。
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
実験・実習評価の実施は原則として、実験・実習の最終日をお願いします。
 - (2) 実施方法について
今年度からウェブによるアンケート方法に変更いたします。実験・実習を担当している先生方は、実験・実習終了15分前頃にウェブアンケートのQRコード読み取り用紙を学生に配布いただき、QRコードを読み取り回答するよう指示をお願いします。
 - (3) QRコード読み取り用紙の回収について
QRコード読み取り用紙は再利用しますので、使用後は回収いただき、教務係へお戻しいただくようお願いいたします
 - (4) 学生への周知について
学生には、実験・実習評価に協力するよう指示しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、公表します。
 - (3) 実験・実習個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

Ⅱ.学生による農学研究科の授業評価

II. 学生による農学研究科の授業評価

1. アンケートの実施方法

1) 実施概要

学生による農学研究科の授業評価は、博士課程前期 2 年の課程で令和 2 年度 1、2 学期の授業を対象とした。アンケート用紙は選択肢形式の設問 18 項目と自由記述項目からなり、満足度、理解度などを調査する形のものである。

2) 実施方針

- (1) 実施は令和 2 年度に行われた農学研究科の講義を対象とした。
- (2) 調査の実施は教員の主体性を尊重した。
- (3) アンケート調査は、令和 2 年 6 月下旬と令和 3 年 1 月に実施した。

3) アンケート作成

- (1) 授業評価実施に関する趣旨説明を掲示するとともに、Web 上のアンケート回答ページ冒頭にも記載して、学生に対して真摯な対応を求めた。
- (2) 設問は授業評価のみにしぼり、カリキュラムや施設等に関する設問は設けなかった。全体集計が可能なように各設問に対する回答は 4 段階評価とし、学部講義、実験・実習の評価と統一した様式で実施した。

4) 実施方法の概要

- (1) 講義については、令和 2 年 6 月下旬および令和 3 年 1 月の各 Semester 終了時の授業時間に、Web 上のアンケート回答ページの QR コード読み取り用紙を配布し、学生は QR コードを読み取り、Web 上でアンケートに回答した。
- (2) 教務係では、学生の回答データを Web 上からダウンロードして集計を行った。
- (3) 実施対象授業科目ならびにアンケート回答数
令和 2 年度 1 学期は 45 科目、2 学期は 18 科目で実施された。また、履修届者数は 1 学期 859 名、2 学期 194 名、アンケート延べ回答者数は 1 学期 155 名で回収率は 18.0%、2 学期 21 名で回収率は 10.8%であった。

2. アンケートの集計結果の分析（講義）

集計は1学期と2学期にわけて行ったが、分析は両者をまとめつつ、或は比較しながら行った。集計結果は、全科目の各設問において、選択項目別にその選択割合を算出後、平均値を計算し、授業評価集計表としてまとめた。また、各質問事項の平均値は、分かりやすいようにレーダーチャートで表した。

1) アンケート項目

設問①:この講義をどの程度受講しましたか。

設問②:授業時間以外に、この授業に関連する学習

(予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強(予定も含む)等)を週当たりどの程度しましたか？

設問③:この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。

設問④:授業概要(シラバス)は有用でしたか。

設問⑤:授業概要(シラバス)にそって授業が行われていましたか。

設問⑥:内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思いますか。

設問⑦:講義について教員の熱意を感じましたか。

設問⑧:講義を進める速度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑨:オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。

設問⑩:パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。

設問⑪:説明は良く聞き取れましたか。

設問⑫:講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(ない場合は、入力不要です。)

設問⑬:教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。

(紹介されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑭:宿題(レポートを含む)や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。

(課されなかった場合は、入力不要です。)

設問⑮:講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑯:講義内容はどの程度理解できましたか。

設問⑰:講義の難易度は適切でしたか。

(適切でない場合は、その改善方向を下の「改善すべき点」に書いて下さい。)

設問⑱:総合的に判断して、この講義に満足しましたか。

2) 集計結果、集計表、感想と意見

○集計結果の分析概要と集計表

各設問に対する集計結果の分析概要は以下の通りである。

設問①:出席状況を問う設問である。80%以上出席としたものが1学期、2学期ともに100%であった。

設問②、③:学生の講義に対する取り組みを問う設問である。予習、復習を含め、自主学習をして講義を受講している割合は96%以上であった。熱心に取り組んでいる学生も同程度であった。

設問④、⑤:シラバスの有用性と、その実際の講義との対応を問う設問である。シラバスに講義の目的、

内容、成績評価基準が適切に示され有用であるとした学生は両学期とも 93%またはそれ以上で、講義内容のシラバスとの対応については、両学期ともアンケートに回答したほとんどの学生が対応していたとしている。

設問⑥、⑦:教員の講義に対する準備や熱意を問う設問である。1 学期、2 学期とも 95%を超える学生が講義内容は準備されていたとしている。また教員の熱意に関しては、1 学期で 97%、2 学期で 100%の学生が熱意を感じている。

設問⑧～⑩:教員の講義の仕方に関する設問である。講義を進める速度に関して、両学期ともに 97%の学生がほぼ適切だと感じている。令和2年度はオンライン講義が主であった。そのため教材の受信について様子を問うた。1学期で支障がある学生が 5%程度いたが、2 学期には解消されたようである。また、1 学期、2 学期ともほとんどの学生が講義を「よく聞き取れた」あるいは「聞き取れた」と回答していた。オンライン、オンデマンドでのパワーポイントや板書については、1 学期には 6%ほど支障があったと回答しているが、2 学期になると読みにくかったとしている学生は無く、改善が進んだものと考えられる。

設問⑫、⑬:教材の有用性に関する設問である。オンライン用に動画や資料の配布があった場合の有用性については、1学期 90%、2学期 81%が役立ったと感じている結果であった。なお、2 学期は対面式の講義も増えたことにより、未回答数の影響もあって数値は減少している。教科書や参考書が講義の理解に役立ったとする学生は 53～62%と低かったが、これは未記入が多いことから、教科書や参考書の利用が特に推奨されなかったか必須ではなかったためと考えられる。大学院では主にアクティブラーニングが主体であることも関係していると考えられる。

設問⑭、⑮:宿題・演習の有効性とオフィスアワーの設定に関する設問である。宿題・演習に関しては、85%以上の学生が有効性を感じていた。オンライン主体であったために多くの講義で課されたと推察するが、それが奏功していたことが窺える。オフィスアワーの設定についてはほとんど(98%以上)の学生が概ね適切であると回答しており、オンライン状況下でも適切な対応が行われていたと考えられる。

設問⑯、⑰:講義の理解度と難易度を問う設問である。理解度については、ほぼ受講生全員が理解できたと感じている。難易度についても、ほぼ全ての受講生が適切であると感じている。

設問⑱:講義の満足度を問う設問である。両学期ともほとんどの学生が満足したと回答している。

設問事項全体の分析を通して、以下に評価の高い点と、改善すべき点についてまとめた。

【評価の高かった点】

- ① 難易度の設定が適切であった。
- ② 自主的な学習、取組みの点の評価が高い。
- ③ シラバスの有用性と、その実際の講義との対応の評価が高かった。
- ④ 進度、教員の熱意、満足度についても評価が高かった。

【改善を要する点】

- ① 講義で用いる教材については各科目の内容によって継続的に検討する必要がある。特に、オンデマンド対応も考慮した対応を事前に検討しておく必要があると考える。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

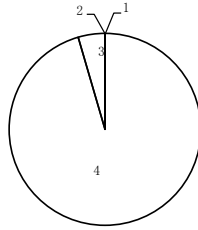
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

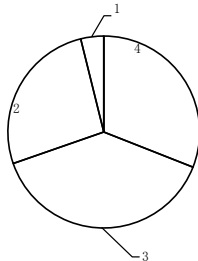
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	148	95.5
	3 80~89%	7	4.5
	2 70~79%	0	0.0
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 授業時間以外に、この授業に関連する学習（予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強（予定も含む）等）を適当な程度しましたか？	4 2時間程度以上	48	31.0
	3 1時間程度	60	38.7
	2 30分程度	41	26.5
	1 全くしなかった	6	3.9
	未記入	0	0.0
3. この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	52	33.5
	3 熱心に取り組んだ	95	61.3
	2 あまり熱心に取り組まなかった	7	4.5
	1 全く熱心に取り組まなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0
4. 授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	43	27.7
	3 有用だった	101	65.2
	2 あまり有用でなかった	10	6.5
	1 有用でなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0

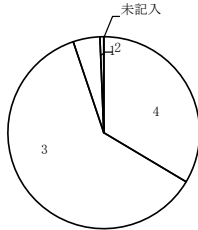
1. 出席



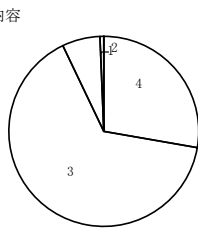
2. 自主学習



3. 興味



4. シラバス内容



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

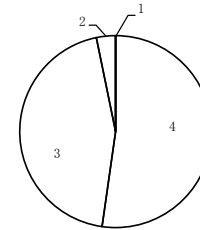
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

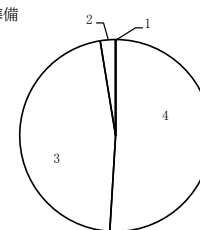
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 授業概要（シラバス）にそって授業が行われていましたか。	4 行われていた	81	52.3
	3 だいたい行われていた	69	44.5
	2 あまり行われていなかった	5	3.2
	1 全く行われていなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
6. 内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたと思えますか。	4 よくされていた	79	51.0
	3 されていた	72	46.5
	2 あまりされていなかった	4	2.6
	1 極めて不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. 講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	86	55.5
	3 感じた	65	41.9
	2 あまり感じなかった	3	1.9
	1 全く感じなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0
8. 講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	96	61.9
	3 概ね適切だった	55	35.5
	2 あまり適切でなかった	3	1.9
	1 全く適切でなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0

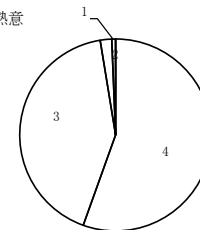
5. 適合性



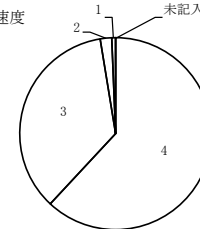
6. 講義の準備



7. 教員の熱意



8. 講義の速度



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

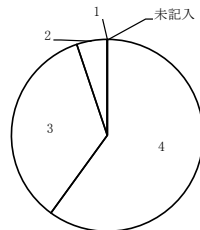
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

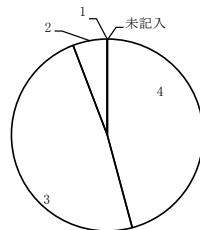
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. オンラインオンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	93	60.0
	3 ほとんど支障なし	54	34.8
	2 時々支障あり	8	5.2
	1 ほとんど受講出来なかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
10. パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	71	45.8
	3 読み易かった	75	48.4
	2 読みにくかった	9	5.8
	1 非常に読みにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	87	56.1
	3 聞き取れた	67	43.2
	2 聞き取りにくかった	1	0.6
	1 聞き取れなかった	0	0.0
	3 未記入	0	0.0
12. 講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（ない場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	82	52.9
	3 役立った	58	37.4
	2 あまり役立たなかった	2	1.3
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	13	8.4

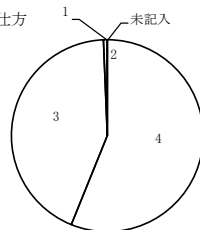
9. 受信



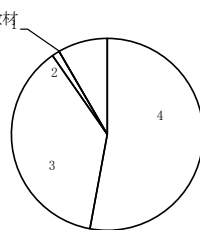
10. 教材



11. 説明の仕方



12. 資料・教材



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

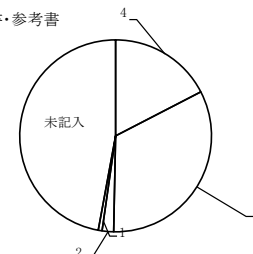
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

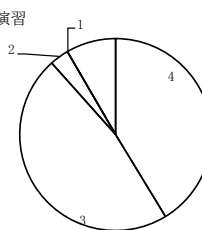
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。（紹介されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	27	17.4
	3 役立った	51	32.9
	2 あまり役立たなかった	3	1.9
	1 全く役立たなかった	1	0.6
	未記入	73	47.1
14. 宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（課されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	64	41.3
	3 役立った	73	47.1
	2 あまり役立たなかった	5	3.2
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	13	8.4
15. 講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	91	58.7
	3 ほぼ適切である	62	40.0
	2 あまり適切でない	1	0.6
	1 適切でない	1	0.6
	未記入	0	0.0
16. 講義内容ほどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	66	42.6
	3 理解できた	84	54.2
	2 あまり理解できなかった	4	2.6
	1 全く理解できなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0

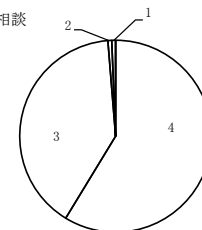
13. 教科書・参考書



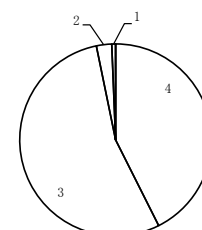
14. 宿題・演習



15. 質問・相談



16. 理解



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年1学期）

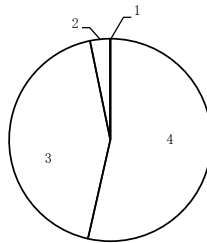
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

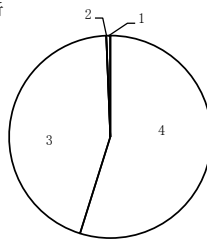
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
17. 講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	83	53.5
	3 概ね適切だった	67	43.2
	2 あまり適切でなかった	5	3.2
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
18. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	85	54.8
	3 ある程度満足した	69	44.5
	2 あまり満足しなかった	0	0.0
	1 全く満足しなかった	1	0.6
	未記入	0	0.0

17. 難易度



18. 総合判断



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

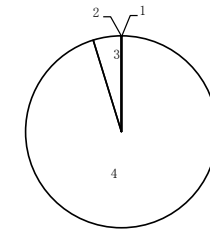
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

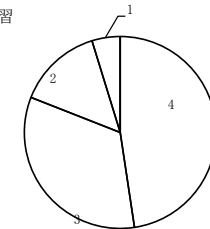
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
1. この講義をどの程度受講しましたか。	4 90%以上	20	95.2
	3 80~89%	1	4.8
	2 70~79%	0	0.0
	1 70%未満	0	0.0
	未記入	0	0.0
2. 授業時間以外に、この授業に関連する学習（予習、復習、宿題、レポート作成、試験勉強（予定も含む）等）を適量たりどの程度しましたか？	4 2時間程度以上	10	47.6
	3 1時間程度	7	33.3
	2 30分程度	3	14.3
	1 全くしなかった	1	4.8
	未記入	0	0.0
3. この講義に興味を持って熱心に取り組んだと思いますか。	4 極めて熱心に取り組んだ	11	52.4
	3 熱心に取り組んだ	10	47.6
	2 あまり熱心に取り組まなかった	0	0.0
	1 全く熱心に取り組まなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
4. 授業概要（シラバス）は有用でしたか。	4 大いに有用だった	11	52.4
	3 有用だった	9	42.9
	2 あまり有用でなかった	0	0.0
	1 有用でなかった	1	4.8
	未記入	0	0.0

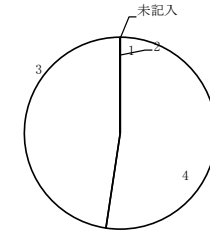
1. 出席



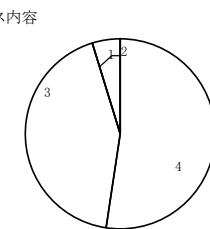
2. 自主学習



3. 興味



4. シラバス内容



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

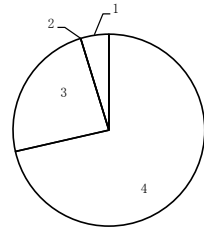
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

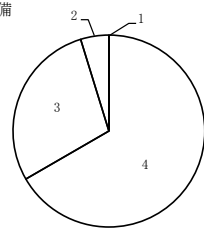
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
5. 授業概要（シラバス）にそって授業が行われていたか。	4 行われていた	15	71.4
	3 だいたい行われていた	5	23.8
	2 あまり行われていなかった	0	0.0
	1 全く行われていなかった	1	4.8
	未記入	0	0.0
6. 内容の系統的整理などの講義に関する準備はよくされていたか。	4 よくされていた	14	66.7
	3 されていた	6	28.6
	2 あまりされていなかった	1	4.8
	1 極めて不十分だった	0	0.0
	未記入	0	0.0
7. 講義について教員の熱意を感じましたか。	4 大いに感じた	17	81.0
	3 感じた	4	19.0
	2 あまり感じなかった	0	0.0
	1 全く感じなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
8. 講義を進める速度は適切でしたか。	4 適切だった	16	76.2
	3 概ね適切だった	5	23.8
	2 あまり適切でなかった	0	0.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

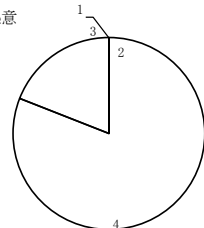
5. 適合性



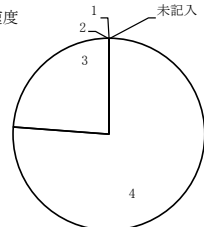
6. 講義の準備



7. 教員の熱意



8. 講義の速度



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

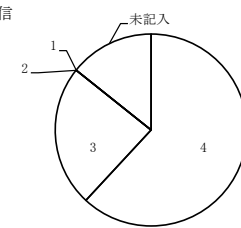
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

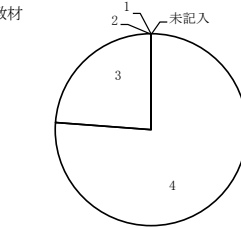
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
9. オンライン・オンデマンド講義を受講する上で、教材は受信しやすかったですか。	4 全く問題なし	13	61.9
	3 ほとんど支障なし	5	23.8
	2 時々支障あり	0	0.0
	1 ほとんど受講出来なかった	0	0.0
	未記入	3	14.3
10. パワーポイントや板書、資料等の文字は、読み易かったですか。	4 大変読み易かった	16	76.2
	3 読み易かった	5	23.8
	2 読みにくかった	0	0.0
	1 非常に読みにくかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
11. 説明は良く聞き取れましたか。	4 よく聞き取れた	16	76.2
	3 聞き取れた	5	23.8
	2 聞き取りにくかった	0	0.0
	1 聞き取れなかった	0	0.0
	3 未記入	0	0.0
12. 講義に関する動画や資料の配布があった場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（ない場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	11	52.4
	3 役立った	6	28.6
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	4	19.0

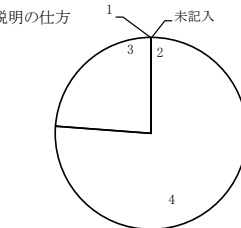
9. 受信



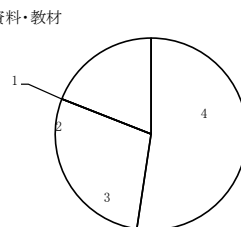
10. 教材



11. 説明の仕方



12. 資料・教材



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

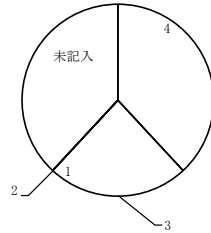
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

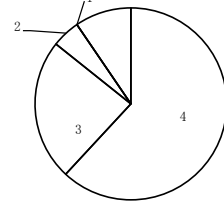
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
13. 教科書または参考書が紹介された場合、予習や復習に役立ちましたか。（紹介されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	8	38.1
	3 役立った	5	23.8
	2 あまり役立たなかった	0	0.0
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	8	38.1
14. 宿題（レポートを含む）や演習が課された場合、講義内容の理解に役立ちましたか。（課されなかった場合は、入力不要です。）	4 大いに役立った	13	61.9
	3 役立った	5	23.8
	2 あまり役立たなかった	1	4.8
	1 全く役立たなかった	0	0.0
	未記入	2	9.5
15. 講義に関する質問や相談等の受け付けは適切に行われていましたか？	4 適切である	17	81.0
	3 ほぼ適切である	4	19.0
	2 あまり適切でない	0	0.0
	1 適切でない	0	0.0
	未記入	0	0.0
16. 講義内容はどの程度理解できましたか。	4 よく理解できた	10	47.6
	3 理解できた	11	52.4
	2 あまり理解できなかった	0	0.0
	1 全く理解できなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

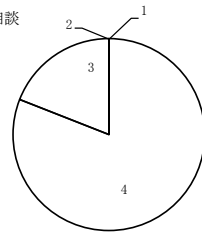
13. 教科書・参考書



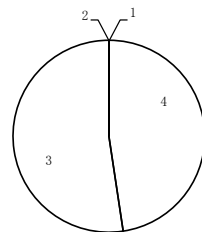
14. 宿題・演習



15. 質問・相談



16. 理解



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果（令和2年2学期）

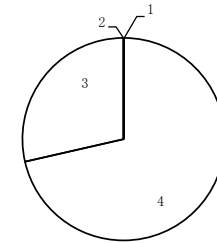
時間割コード：AM00000

授業科目名：全科目合計

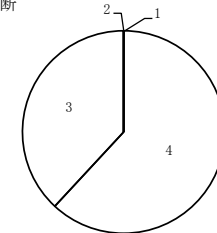
担当教員名：

質問事項	選択項目	回答	比率 %
17. 講義の難易度は適切でしたか。	4 適切だった	15	71.4
	3 概ね適切だった	6	28.6
	2 あまり適切でなかった	0	0.0
	1 全く適切でなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0
18. 総合的に判断して、この講義に満足しましたか。	4 大変満足した	13	61.9
	3 ある程度満足した	8	38.1
	2 あまり満足しなかった	0	0.0
	1 全く満足しなかった	0	0.0
	未記入	0	0.0

17. 難易度



18. 総合判断

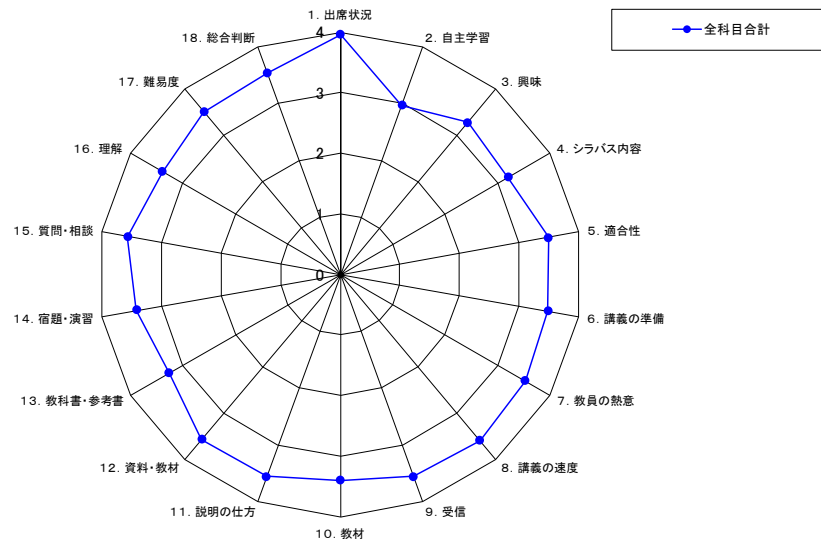


○全科目の集計結果と集計表

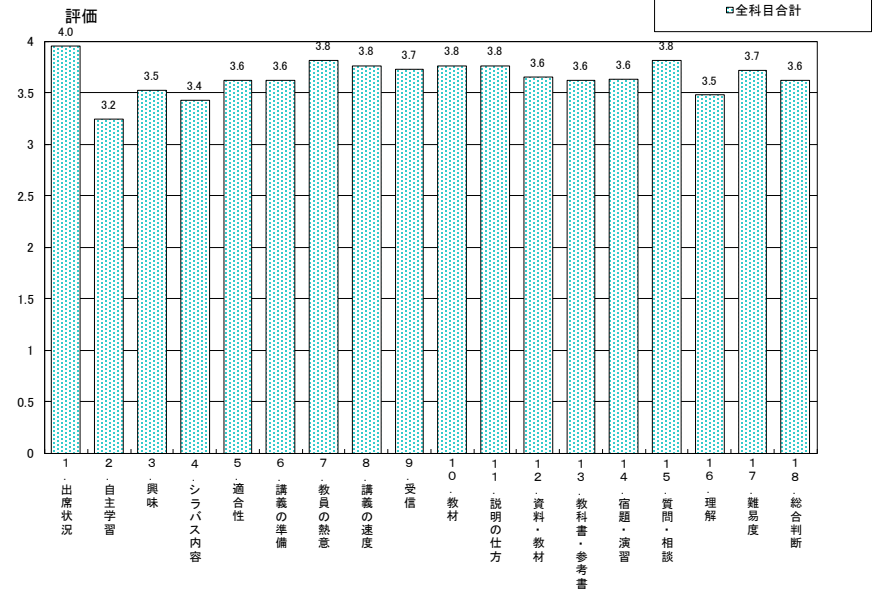
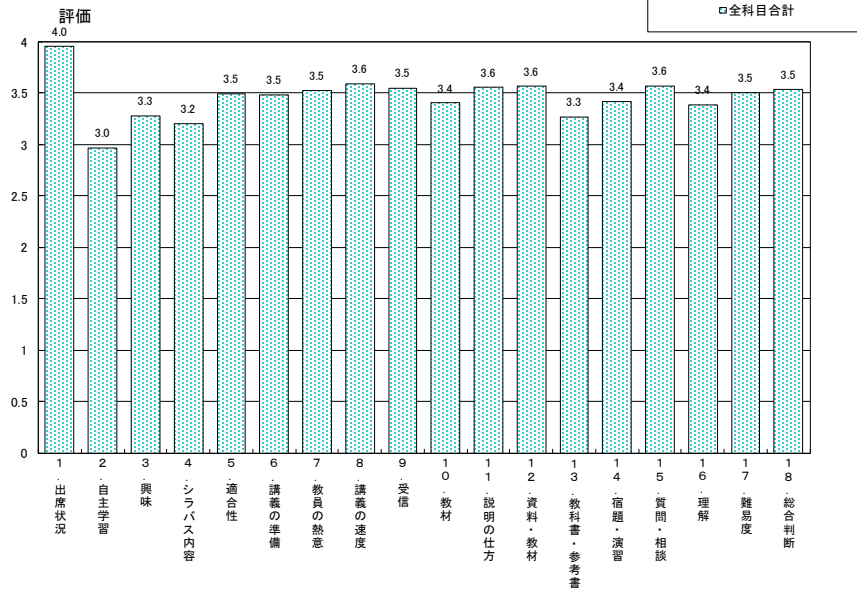
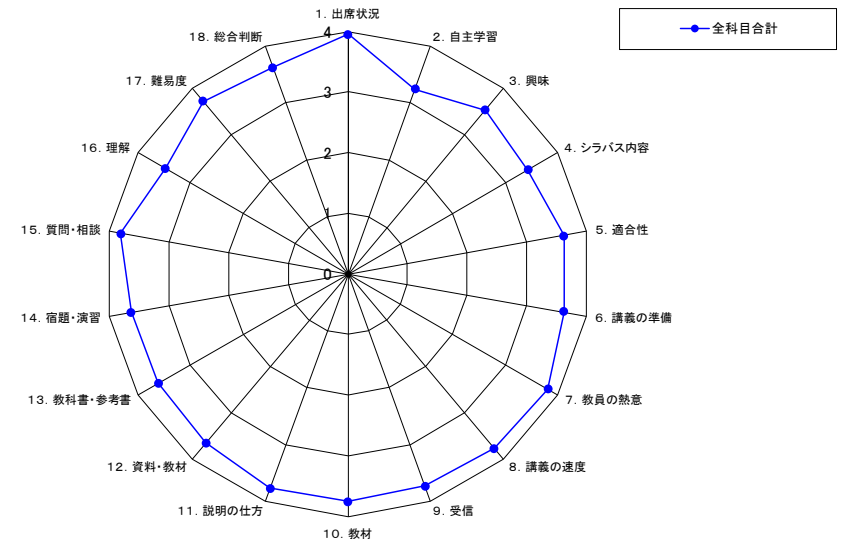
各設問に対する 4 段階評価の全科目平均値の結果をレーダーチャートで図示した。出席状況の値は高く、講義の内容・方法等に関する他の多くの項目についても高い評価値であった。講義には興味を持って熱心に取り組んでいることがうかがえ、自主学習にある程度の時間を費やされており、学生の積極性についても高く評価できる。

なお、以上の評価は、17.4%(1学期)、10.8%(2 学期)のアンケート回収率に基づいている(3.参考資料2)授業評価実施科目表(科目別受講者数およびアンケート回収率)(令和 2 年度))。新型コロナウイルス感染症の影響を受けて、周知対応が徹底できなかったため回収率が低いと考える。回収率の向上に向けた対応も今後は必要である。

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和2年1学期)
全科目合計

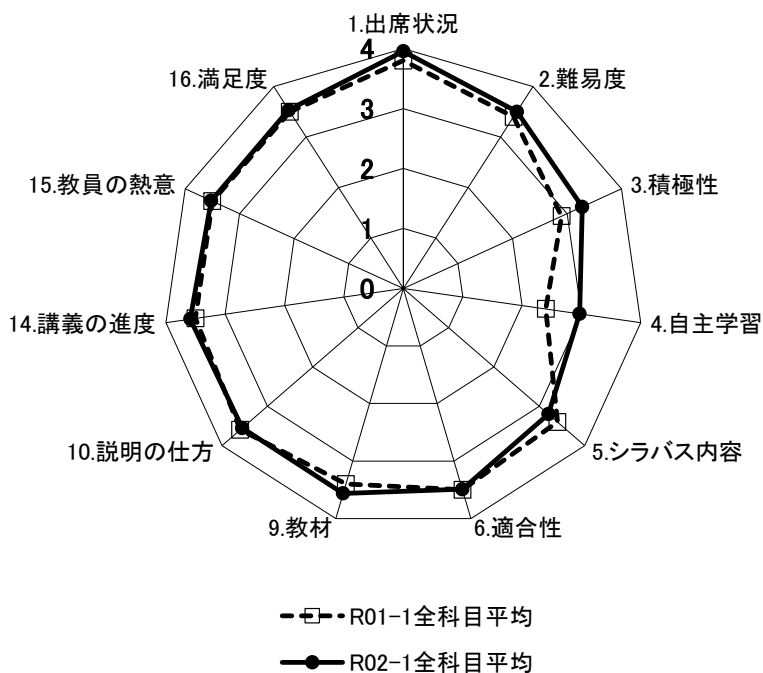


東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和2年2学期)
全科目合計

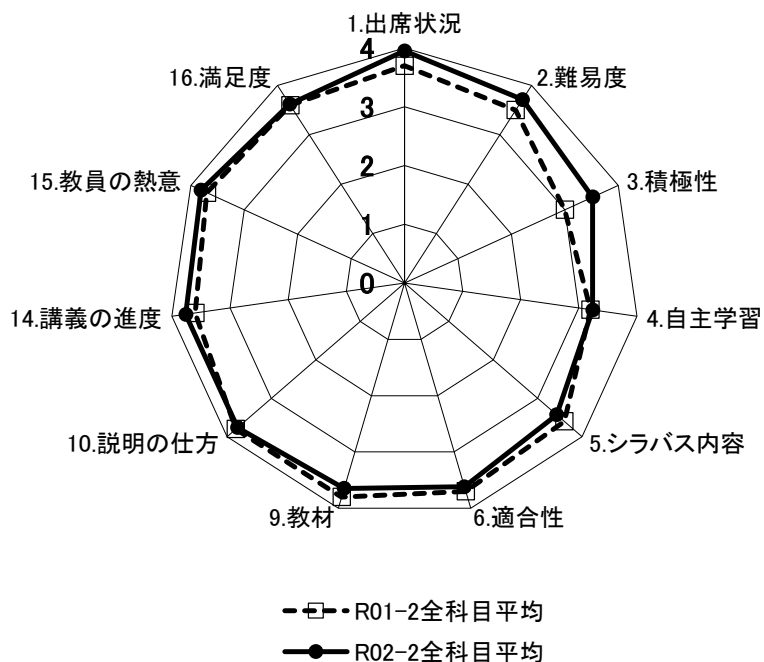


○前回の授業評価との比較 ※項目に変更があったが、類似する項目はそのまま比較している。
 アンケートは内容、設問数は前回(令和元年度実施)と一部異なる(前回の⑦、⑧、⑪～⑬を削除し、今回⑥、⑨、⑩、⑬～⑯を改訂し設定)。1学期、2学期とも前回と大きな変化はない中で、積極性と自主学習において改善が進んでいることが分かる。

前回の1学期全科目平均値との比較



前回の2学期全科目平均値との比較



3. 参考資料

- 1) 東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート用紙(QRコード) (令和2年度)
- 2) 授業評価実施科目表 (科目別受講者数およびアンケート回収率) (令和2年度)
- 3) 「学生諸君へ」農学研究科の学生による授業評価の実施について
- 4) 「授業担当教員」農学研究科学生による授業評価の実施について

授業評価アンケート（R2前期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/ED0APOZV>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/MV3PBKOG>



授業評価アンケート（R2後期）

URLまたはQRコードを読み取り、アンケートに回答してください。

学部講義用

<https://questant.jp/q/Q7APG1JU>



学部実験用

<https://questant.jp/q/O16KPLML>



大学院講義用

<https://questant.jp/q/ZLBQLVNZ>



東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和2年度1学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	154	859	17.9%
AM6001	Food & Agricultural Immunology	0	21	0.0%
AM6002	International Development Stud	15	6	250.0%
AM2521	遺伝子情報システム学特論	0	7	0.0%
AM1523	栄養生理学特論	0	31	0.0%
AM1221	園芸生産システム学特論	0	10	0.0%
AM1424	海洋生命遺伝情報システム学特論	0	8	0.0%
AM1331	環境経済学特論	0	17	0.0%
AM1411	環境適応生物学特論	0	10	0.0%
AM1334	機能分子解析学特論	0	26	0.0%
AM1605	災害復興合同講義 I	17	18	94.4%
AM1332	栽培植物環境科学特論	0	14	0.0%
AM1551	実践科学英語	0	16	0.0%
AM1251	食・農アクセスサイエンス	0	31	0.0%
AM1112	食品化学特論	0	43	0.0%
AM1710	植物栄養生理学特論	0	5	0.0%
AM1341	植物生命科学合同講義	33	47	70.2%
AM1522	植物病理学特論	0	10	0.0%
AM1131	水圏資源生態学特論	0	16	0.0%
AM1111	水圏植物生態学特論	0	33	0.0%
AM1351	水圏生物生産科学合同講義	0	20	0.0%
AM1151	水圏動物生理学特論	0	8	0.0%
AM1421	水産資源化学特論	0	2	0.0%
AM17021	生物共生科学特論	0	13	0.0%
AM1531	生命圏倫理学	1	132	0.8%
AM1132	草地科学特論	1	31	3.2%
AM1222	組織細胞機能学特論	24	60	40.0%
AM1512	動物栄養生化学特論	0	11	0.0%
AM1333	動物資源化学特論	15	35	42.9%
AM1242	動物生殖科学特論	0	5	0.0%
AM1422	動物微生物学特論	13	47	27.7%
AM12310	土壌立地学特論	7	11	63.6%
AM1705	農林水産政策学特論	0	26	0.0%
AM1121	微生物科学合同講義	28	51	54.9%
AM1141	フィールド社会技術学特論	0	25	0.0%
AM1211	分子細胞生物学特論	0	13	0.0%

東北大学大学院農学研究科の講義に関するアンケート集計結果(令和2学年度2学期)

時間割コード	科目名	アンケート提出者数	受講者数	回収率
AM00000	全科目合計	21	194	10.8%
AM1241	国際開発学特論	0	9	0.0%
AM3101	資源環境経済学特別演習 I	0	13	0.0%
AM2433	植物細胞生物学合同講義	0	2	0.0%
AM2701	水族生物学特論	0	35	0.0%
AM2332	生物海洋学特論	0	18	0.0%
AM2221	生物資源利用学	0	20	0.0%
AM2213	生物有機化学特論	8	9	88.9%
AM2601	生命共生科学	0	28	0.0%
AM2251	先端産業開発論	5	32	15.6%
AM3201	天然物合成化学特論	4	5	80.0%
AM2351	動物遺伝育種学特論	0	6	0.0%
AM2432	農業経営経済学特論	4	13	30.8%
AM2702	複合生態フィールド制御学特論	0	4	0.0%

掲 示

学 生 諸 君 へ

農学研究科の学生による授業評価の実施について

令和2年度第1学期に開講される授業科目について、下記のとおり学生による授業評価を実施します。

この授業評価は、農学研究科の授業と教育システムを改善するための参考資料となるものであり、学生諸君の授業に対する考えを把握することにより、今後の授業改善につながることを期待されます。

学生諸君全員の理解と協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される授業科目(前年度対象)について実施します。
2. 実施方法
授業担当教員から配布されるURLまたはQRコードを読み取り、ウェブ上でアンケートに回答して下さい。
3. 評価結果の取り扱い
この評価結果は集計の後公表し、今後の農学研究科の授業改善の参考となります。

令和2年6月

農学研究科長

令和2年6月10日

農学研究科授業担当教員 各位

農学研究科評価室長

学生による授業評価の実施について(依頼)

このことについて、第1学期に開講される授業科目について実施します。つきましては、アンケートを下記により実施いただきたく、特段のご協力をお願いします。

記

1. 対象授業科目について
第1学期に開講される農学研究科授業科目(前期課程)について実施します。**受講者数に関らず全科目が対象となります。**ただし、全学で実施している合同講義の誘替え科目については対象となりませんので、**その場合は教務係までご連絡願います。**
2. 実施日時・方法等
 - (1) 実施日時について
授業評価の実施は原則として、講義の最終回をお願いします。
 - (2) 実施方法について
授業を担当している先生方は、授業の最終回にウェブアンケートのURLまたはQRコードを講義資料やGoogle Classroom等にて学生へ周知いただき、回答するよう指示をお願いします。
URL: <https://questant.jp/q/MV3PBKOG>
 - (3) 学生への周知について
学生には、授業評価に協力するよう周知しています。
3. 評価結果の取り扱い
 - (1) 評価結果は集計後、統計的分析データを公表します。
 - (2) アンケート結果は集計後、各担当教員に公表します。
 - (3) 授業個々のデータは、上記趣旨以外に使用されないよう慎重に取り扱います。

学生による授業評価アンケート実施結果報告書

2022年3月

編集：東北大学大学院農学研究科評価室・評価委員会

評価室長	鳥山 欽哉		
評価委員会	上本 吉伸		大越 和加
	小川 智久	○	落合 芳博
	加藤 一幾	◎	北柴 大泰
	○ 桑原 重文		小島 創一
	此木 敬一	○	新谷 尚弘
	角田 毅	○	中嶋 正道
	冬木 勝仁		
評価室員	川邊 晃一		平野 大二郎

(◎学生授業評価専門委員会委員長、○同専門委員会委員)

発行：東北大学大学院農学研究科

〒980-8572 宮城県仙台市青葉区荒巻字 468-1

Tel: 022-757-4003 Fax: 022-757-4020
